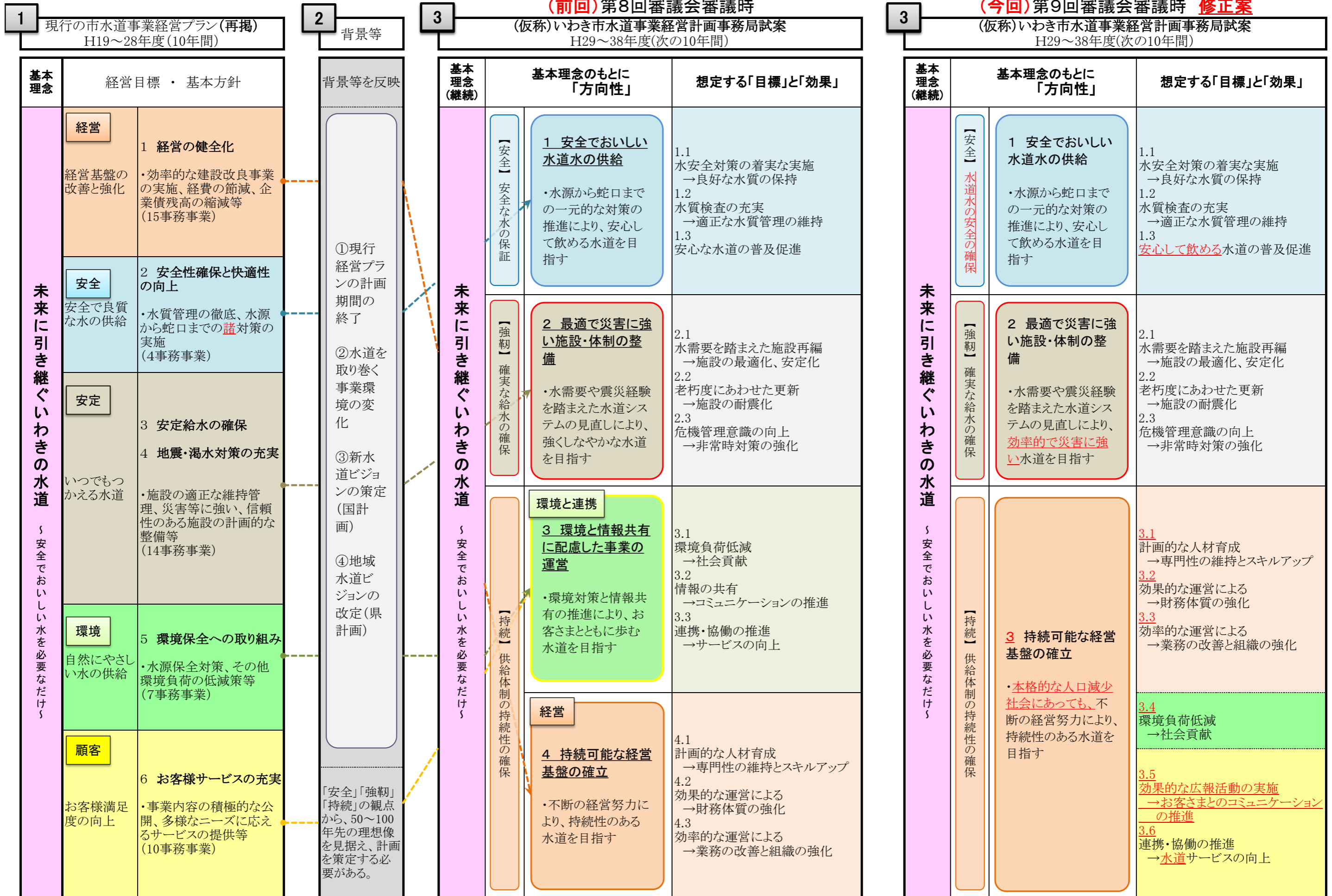


□ 新たな経営プランについて(案)



## 2 方向性

水道事業は、お客さまの生命や健康に直接関わる重要な事業であることから、地方公共団体などが経営し、企業の経済性を発揮するとともに、その本来の目的である公共の福祉を増進するために、持続的にサービスを提供していく必要があります。そのため、事業の運営にあたっては、お客さまのご理解をいただくことが不可欠であり、お客さまのニーズを十分に把握し、お客さま視点に立った事業を展開していくことが重要です。

これを踏まえ、本市水道事業を取り巻く諸課題に適切に対応し、次世代に健全な姿で「いわきの水道」を引き継いでいくために、「安全」「強靱」「持続」の観点から本市水道事業が目指す3つの方向性を導き出しました。

目指すべき3つの方向性ごとに具体的な目標を掲げ、基本理念の実現に向けて具体的な施策や事業を計画的に実施していきます。

## 基本理念 「未来に引き継ぐいわきの水道」

～ 安全でおいしい水を必要だけ ～

### 【安全】

水道水の安全の確保

### 【強靱】

確実な給水の確保

### 【持続】

供給体制の持続性の確保

## 基本理念の実現に向けて目指す方向性

### 方向性1

安全でおいしい  
水道水の供給

水源から蛇口までの一元的な対策の推進により、安心して飲める水道を目指す

### 方向性2

最適で災害に強い施設・体制の整備

水需要や震災経験を踏まえた水道システムの見直しにより、効率的で災害に強い水道を目指す

### 方向性3

持続可能な経営基盤の確立

本格的な人口減少社会にあっても、不断の経営努力により、持続性のある水道を目指す

目指す方向性ごとに目標(12)や取組(38)